

平成30年4月

参加クルー 各位

関西ボート連盟

【 水 難 事 故 防 止 】

ボート競技はルールやマナーを守れば安全なスポーツですが、わが身を守るための知識と能力は必要です。今大会も安全面の留意事項として「**水上における自らの安全を確保する技量を有していること。(例えば、立ち泳ぎができる等)**」としています。改めて自己の防衛能力の徹底と事前の備えをお願いします。

“自分の生命は自分で守る”

1995年度の朝日レガッタ期間中、増水で流れの速い瀬田川で練習をしていた高校女子ダブルスカルが転覆、水面に不慣れで泳ぎが得意でなかった為に一人が亡くなるという事故がありました。ボートで起こりうる事故には落水、艇の転覆・沈没、衝突等がありこれらに対する知識と対応能力(水面に留まる水泳能力)があれば、万一の場合でも自分の生命を守ることができます。

“救命具を携行、装着するなどの安全対策を各クルーの責任において実施”

日本ボート協会競漕規則では、乗艇時の救命具に関する規定が削除されましたが、出漕に際しては、救命具を携行、装着するなど安全対策を各クルーの責任において実施すること。

“瀬田川での練習は右側航行、他艇の動きに細心の注意を”

朝日レガッタ大会期間中、瀬田川での練習では、右側航行を厳守し、**流れが速いため橋けたの上流付近で艇を廻すことや石山寺港より下る事を厳禁**します。

また、観光船(一番丸)の運航が石山寺港からJR鉄橋を通過し近江大橋付近を往復します。練習には十分注意して下さい。

特に、進行方向の安全確認は十分注意して接触事故が無いようにして下さい。

“水上、陸上を問わず、事故に関して、競漕委員会は責任を負いません”

以上